



充実の2学期、81日間、無事終了！！ご協力に感謝申し上げます！！

2018年も教育活動に対し、多大なるご協力とご支援を賜りましたことに感謝いたします。お陰様で無事に終業式を迎えることができました。様々な教育活動を通して多くの成果を収め、子ども一人一人の伸びを実感できた学期となりました。また、教育相談へのご協力ありがとうございました。担任と話し合った内容と本日お子さんにお渡しした通知票の内容をもとに、頑張った点は大いに褒め、次の目標設定にあたってはお子さんに寄り添っていただけますと幸いです。2学期の所見は、教育相談の内容にかえさせていただきますのでご了承ください。10月から行ってきました除染に伴う表土等搬出作業も無事終了しました。工事期間中のご協力に感謝いたします。年末年始に向けて慌ただしい日々が続きますが、健康にはご留意され、どうぞご家族皆様でよい年をお迎えください。【ダンスクラブ発表会】



みんなで跳ぼう！なわとびコンテストにエントリー

県教委が主催する冬場の子どもたちの体力向上に向けた取組みであるコンテストに全校挙げてチャレンジしています。学級学年で仲間同士力を合わせて、1回でも多く跳ぶことができるように長縄とびに挑みます。チームとして一致団結して何回跳べるか楽しみです。

安積町6校連絡協議会、小原田地区3校連絡会開催

12月5日と6日、それぞれの会議を行い、情報交換した内容についてお知らせします。

- ゲーム機に絡んだトラブルがあるので、子どもたちの様子に注意を払ってほしい。
- 自転車の乗り方について今一度確認、そして安全についての声掛けを大事にしたい。
- インフルエンザ等健康に留意してほしい。
- 友達の家に外泊や友達の親の車で遊びに行くなど親同士が情報を共有してほしい。

コンクール入賞者 ～おめでとうございます～

○市子ども総合美術展

- | | |
|--------------|-----------|
| 金賞 4年 氏家惇希さん | 4年 茅原優衣さん |
| 5年 梶原羽衣さん | 6年 松井亮樹さん |
| 銀賞 1年 金子輝時さん | 1年 滝川洗也さん |
| 2年 武田 蓮さん | 2年 渡邊心和さん |
| 3年 鶴澤九厘子さん | 3年 横堀晴南さん |
| 5年 白石寛二さん | 6年 鈴木怜央さん |

○小学生の税に関する習字展

- 佳作 6年 伊藤那奈弥さん

市P連より3名の方が表彰

11月28日(水)にけんしん郡山文化センターで第54回市P連研究大会が行われ、席上、永年にわたるPTA活動へのご尽力に対し、本校から以下の3名の方が表彰されました。

加藤孝子様 佐藤泰章様 高原育子様
受賞を心よりお祝いいたします。

【校長コラム】親子のコミュニケーション

子育てで難しいなと感じることに、親子のコミュニケーションの在り方を挙げられる方もいるかと思えます。NHK出版新書「子どもの脳を傷つける親たち」友田明美著に参考となる記述がありましたのでご紹介します。

○ 積極的に使いたいコミュニケーション

- ①繰り返す：子どもの適切なセリフを繰り返すことで、子どもが会話の主役になります。子どもは自分の話を聞いて理解を示してくれていることを感じます。
- ②行動を言葉にする：子どもの適切な行動に対して、言葉がけをすることで、親が興味関心を示していることが伝わります。子どもにとって良い行動なのだ学習する機会になります。
- ③具体的に褒める：「～してあげられたんだ。えらいね。」などのように、具体的に子どもの好ましい行為や姿を褒めます。褒めると互いに気分がよくなりよい関係が築けます。

○ 避けたいコミュニケーション

- ①命令や指示：子どもから主導権を奪う。親に従うことを期待しての声かけになる。
- ②不必要な質問：子どもの行動を中断させ、集中を切らせてしまう。
- ③禁止や否定的な表現：互いに不愉快になる。子どもの否定的な行動を増やすことにつながる。

筆者は、まとめとしてこう述べています。「**ご褒美はお菓子やお小遣い、ゲーム機でなくてもよいのです。褒めることが、ご褒美としてしっかりと子どもの脳に響いているのです。**」意味ある言葉です。